
令和5年度第1回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：令和5年8月3日(木) 10時～11時50分

開催場所：彦根市役所 5階 第1委員会室

【会議の内容】

1 開会

市民環境部長からあいさつ

2 議題

(1) 第3期彦根市環境基本計画および地域行動計画の取組状況について

➤ (事務局説明)

- ・資料1～3に基づき、取組状況について報告。

➤ (意見等)

- ・環境こだわり農業を推進していくには、ブランド力の向上に向けた取組が重要であり、商品の売り方を明確にした上で、作り手、関連団体、行政が目標に向かって協同していく必要があると考えます。

- ・ホタルの確認場所数は環境リスク低減に向けた取組の指標ですが、単に水質が良くなっただけではホタルは増えないため、生育に適した環境づくりを市民、関連団体、行政が一体となって取り組む必要があると思います。

→この指標はあくまでも水質環境を示す指標であり、環境基本計画においては、ホタルの観測を通じて市民にも環境に関心をもってもらいたくためのきっかけであると考えています。(事務局)

→ホタルは環境リスクの低減だけの見方ではなく、市民がホタルを目にする場所が増えていくことが豊かな自然を取り戻すことに繋がるため、保全活動も含めた検討をお願いしたいと思います。

- ・外来種が在来種に与える影響などについて、数値やデータがあると市民の方にも理解してもらいやすいと思います。

- ・学校給食地産地消率について、野菜の生育や作物銘柄も関わるため、生産者の情報を参考にしながら連携していく必要があります。

→JA からあらかじめ量や規格が安定している推奨作物の情報を得て、その野菜を積極的に使用するなど、関係機関との連携に取り組んでいるところです。(事務局)

→食育に詳しい栄養士や調理員の方も重要であり、米から野菜への転換を促すため

に生産者と連携することや、それらの方を取りまとめていく必要があります。

- ・様々な施策で移住者を増やすことができれば、空き家の活用も進むと考えられます。
 - ・将来的にあらゆるごみを減らす取組は避けて通れないと思います。今後発生量が増えるものとして大人のおむつがあり、水分が多く、原料にはプラスチックが含まれているため、新しいごみ処理施設を造るのであれば、将来的な想定も必要ではないかと思います。
- 現在のところ紙おむつは燃えるごみとして処理していますが、市としても課題の一つであることは認識しています。新ごみ処理施設の整備を控えているため、先進事例等を参考にし、企業と連携するなど本市にあった対応を研究、検討していきます。(事務局)
- ・温室効果ガスの排出量は、基本的に使用したエネルギー量と排出係数で計算されますが、排出係数の影響が大きいいため、使用したエネルギーの量についても確認できれば、市民の節電などの取組がより分かりやすくなると思います。
 - ・投資効率が良くなってきているため、公共施設における再生可能エネルギーの導入を積極的に検討いただきたい。

(2) その他事務連絡等

➤ (事務局説明)

- ・今年度予定している審議会は、基本的には今回で終了
- ・ご意見については今後の取組方針を検討し、書面でお知らせする
- ・来年度は委員の改選

3 閉会